ろんだん佐賀

南雲　朋美
地域コンサルタント

なぐも・ともみ　広島県生まれ。慶応義塾大総合政策学部卒。星野リゾートで広報・ブランディングを担当した後、フリーに。有田焼400年事業や肥前吉田焼活性化プロジェクトに参画。現在は行政コンサルや宿泊施設のプロデュースのほか、慶応義塾大学と首都大学東京で非常勤講師も担う。東京都。

有田に肌美人が多い理由

有田温泉は日本一の美肌温泉!?

筆者は仕事柄、全国の温泉を数多く見てきたが、その中でもダントツに美肌温泉だと思うのは佐賀県の有田温泉だ。その理由を調べたことがあるので、ここで紹介したい。

今から4年前、有田焼の窯元夫人を、自分より年下だと思っていたら10歳近く年上の方だった。その方の身のこなしもあるが、肌がとても若々しく、ホコリまみれの工場なのに手も綺麗。その人が特別なのかと思ったら、別の窯元夫人も同様だった。ある方が「水が原因では?」というので早速調べてみた。

ここからは、少し専門的になるが、佐賀の皆さんには自慢になることだと思うので、ぜひ、我慢して読み進んでほしい。調べたのは水ではなく温泉。水も温泉も地面から湧き出る、という意味では同じであること（もちろん厳密に言えば地層は異なる）。また、温泉は成分表記が数値と効能で公開されているので検証しやすいからだ。

美肌温泉の定義はいろいろあるが、納得度の高さで言えば「日本一の美人の湯ってどこ?」のサイト（http://hajime.halfmoon.jp/）にある記述だと思う。この方によると美肌温泉と言えるのは、①肌を柔らかくする成分②保湿を高める成分③肌をすべすべにする成分、この三つが整うと美肌効果が高くなるという。

美肌温泉とされる指標に沿って、有田温泉と日本三大美肌温泉（斐乃上温泉、喜連川温泉、嬉野温泉）と比較したところ、ナンバーワンが有田温泉だったというわけだ。もう少し細かく見てみよう。

①の肌を柔らかくするのはアルカリ成分。数値では有田温泉がトップでpH（水素イオン指数）9・43、嬉野温泉pH8・6、喜連川温泉pH8・0、斐乃上温泉pH7・8である。次に②の保湿。保湿をするためには水素イオンよりナトリウムイオンが多いと良いとされており、有田温泉がトップで395、嬉野温泉265、斐乃上温泉34・5、喜連川温泉マイナス850である。最後は③入浴後のすべすべ感。これはカルシウムイオンとマグネシウムイオンの合計量が少ないか、もしくは硫酸イオンの量が多いかで決まる。説明が難しいので簡単に言うと有田温泉、嬉野温泉、斐乃上温泉は肌をすべすべにする泉質で、喜連川温泉はベタベタ感が残る、数値的にはそんな結果になった。

有田温泉がこんなにもすごい数値をたたき出せる理由は、有田という地域が有田焼の素材である「磁石」の層の上にあることと関係していると推測する。磁石には「カオリン」という、ファンデーションやパック、トリートメントとして毛穴の汚れや余分な角質を吸着する効能があるのをご存じだろうか。有田の住人は、この地層から湧き出た「美肌水」を飲み、「美肌水」のお風呂に浸かる。さらに、焼き物を作っている人は毎日工場で美肌の粉を浴びている。そうか、だから彼女たちは美肌なのだ、筆者はそう考えている。

有田温泉は非常にヌルヌルしており、滑りやすい。また、湯口からのお湯はまるで美容液のような感触だ。まだ、有田温泉に行ったことがない方は、この美肌パワーを体験しないともったいない。

（数値は全て各温泉のウェブサイトに記載の成分表を参考にした）